

第3期末 (2016年11月21日)	
基準価額	12,919円
純資産総額	33億円
騰落率	△9.9%
分配金	0円

〈購入・換金手数料なし〉 ニッセイグローバルリート インデックスファンド

追加型投信／海外／不動産投信／インデックス型

交付運用報告書

作成対象期間：2015年11月21日～2016年11月21日

第3期 (決算日 2016年11月21日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「〈購入・換金手数料なし〉ニッセイグローバルリートインデックスファンド」は、このたび第3期の決算を行いました。

当ファンドは、「ニッセイグローバルリートマザーファンド」受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずる市場で取引されているものを含みます）しているリート（不動産投資信託証券）に投資することにより、S & Pグローバルリートインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも是非ご継続頂き、いっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

 **0120-762-506**(コールセンター)

受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです。

 <http://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

東京都千代田区丸の内1-6-6

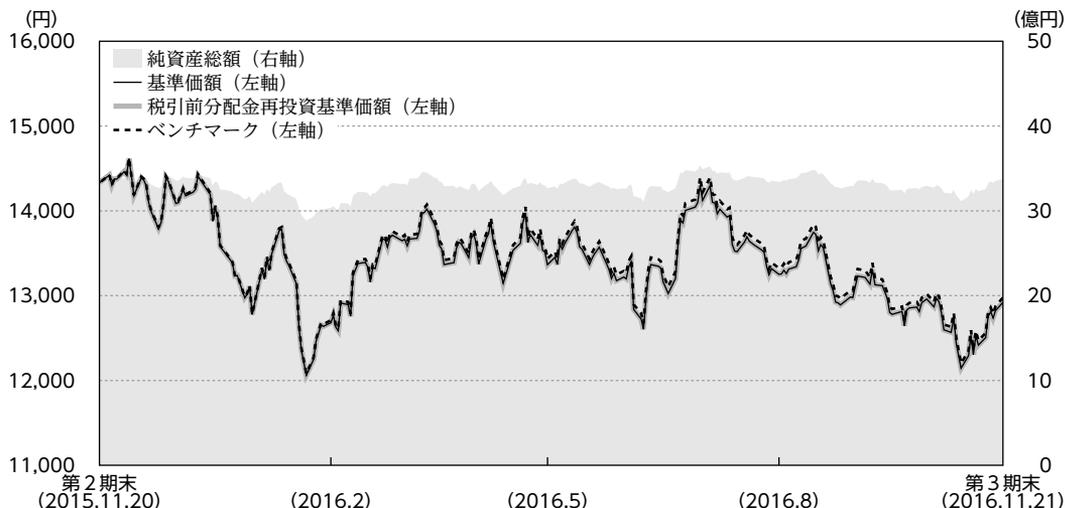
- 当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めています。上記ホームページの「基準価額一覧」等から当ファンドのファンド名称を選択することにより、「商品ページ」において、運用報告書（全体版）をダウンロードすることができます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

運用経過

2015年11月21日～2016年11月21日

基準価額等の推移



第3期首	14,332円	既払分配金	0円
第3期末	12,919円	騰落率(分配金再投資ベース)	△9.9%

- (注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) ベンチマークはS & Pグローバルリートインデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なお円換算の際には、現地通貨ベースの指数を国内の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算しています。S & Pグローバルリートインデックスの所有権およびその他一切の権利は、スタンダード&ブアーズが有しています。スタンダード&ブアーズは、同指数の算出に係る誤りや当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負いません。以下同じです。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は、期初から2月中旬にかけては、中国株式市場が急落したことや原油価格が下落したこと、また欧州において大手金融機関に対する信用懸念が広がったことなどを背景に、世界的なリスクオフ(リスク商品から安全資産に向かう動き)が強まったことから大きく下落しました。

しかしその後は、欧州中央銀行(ECB)による追加金融緩和や、イギリスにおいて欧州連合(EU)離脱(Brexit)を背景に高まった政治不透明感が次期首相の決定を受けて後退したことなどから、市場センチメント(市場心理)が改善し上昇しました。

一方で、8月以降は、米利上げ観測が高まったことや、その後も米大統領選挙を受けた思惑から長期金利が上昇したことなどが嫌気されたことを受けて基準価額は下落基調で推移し、結局、前期末と比較すると下落して当期末を迎えました。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

1 万口当たりの費用明細

2015年11月21日～2016年11月21日

項目	第3期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	65円	0.487%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,412円です。
(投信会社)	(29)	(0.217)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(29)	(0.217)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受託会社)	(7)	(0.054)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	3	0.021	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.000)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
(投資信託証券)	(3)	(0.021)	
有価証券取引税	1	0.006	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
(株式)	(0)	(0.000)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(投資信託証券)	(1)	(0.006)	
その他費用	10	0.076	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(監査費用)	(1)	(0.008)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
(その他)	(9)	(0.068)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	79	0.590	

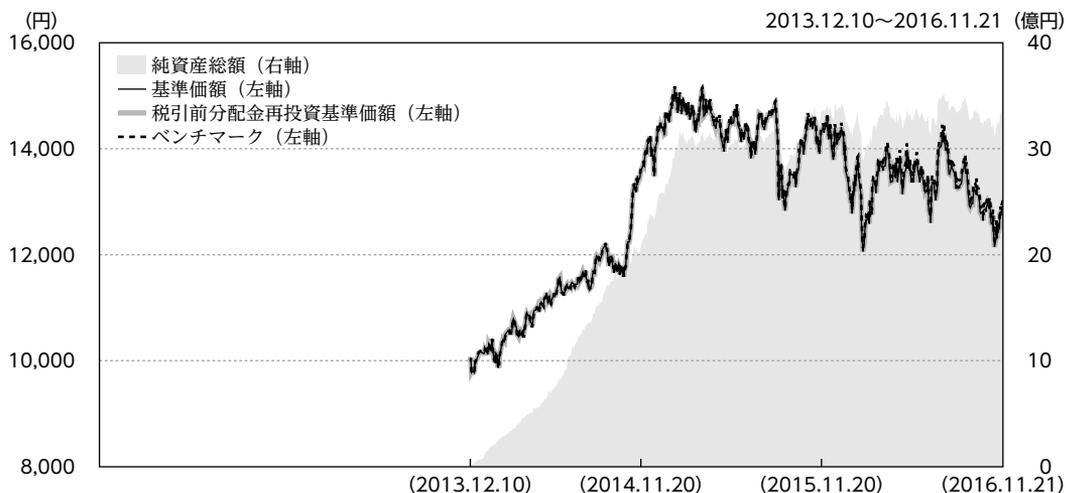
(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

最近5年間の基準価額等の推移

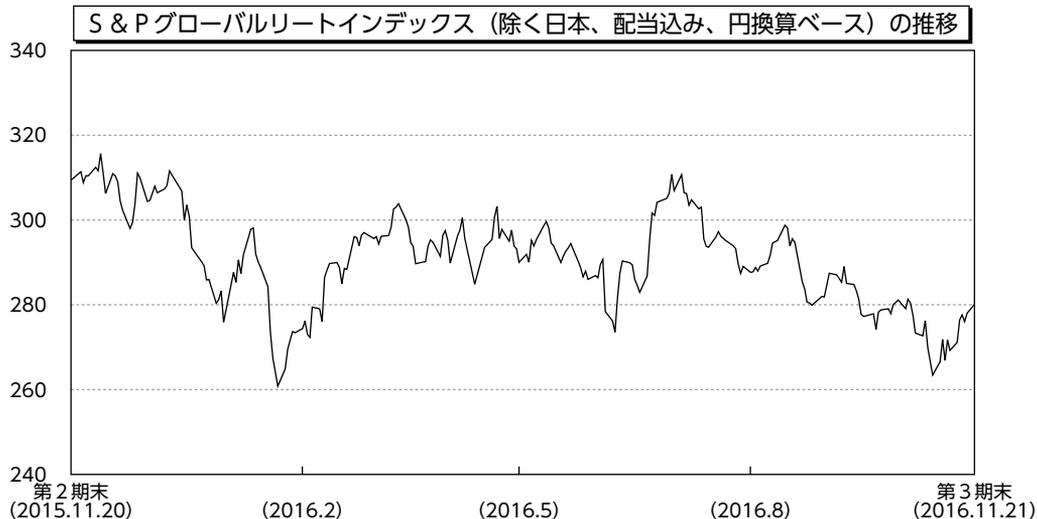


- (注1) 当ファンドの設定日は2013年12月10日です。
 (注2) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、設定時の基準価額にあわせて指数化しています。
 (注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注4) ベンチマークは設定時を10,000として指数化しています。

決算日		2013年12月10日	2014年11月20日	2015年11月20日	2016年11月21日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	13,601	14,332	12,919
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0
税引前分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	36.0	5.4	△9.9
ベンチマーク騰落率	(%)	—	36.3	5.6	△9.5
純資産総額	(百万円)	13	2,073	3,346	3,376

(注) 設定日の基準価額は当初設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

グローバル不動産投資信託（リート）市況



(注) 指数は、ブルームバーグのデータを使用しています。

当期のグローバルリート市場は、期初から2月中旬にかけては、中国株式市場が急落したことや原油価格が下落したこと、また欧州において大手金融機関に対する信用懸念が広がったことなどを背景に、世界的なリスクオフが強まったことから大きく下落しました。

しかしその後は、ECBによる追加金融緩和や、Brexitで高まったイギリスにおける政治不透明感が次期首相の決定を受けて後退したことなどから、市場センチメントが改善しリート市場は上昇する展開となりました。

一方で、8月以降は、複数の米連邦準備制度理事会（FRB）高官による早期利上げを示唆する発言などを背景に、利上げ観測が高まったことや、その後も米大統領選挙を受けた思惑から長期金利が上昇したことなどが嫌気されて、グローバルリート市場は再び下落基調で推移し、結局、当期末のS & Pグローバルリートインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）は、前期末比-9.5%となりました。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

ポートフォリオ

当ファンド

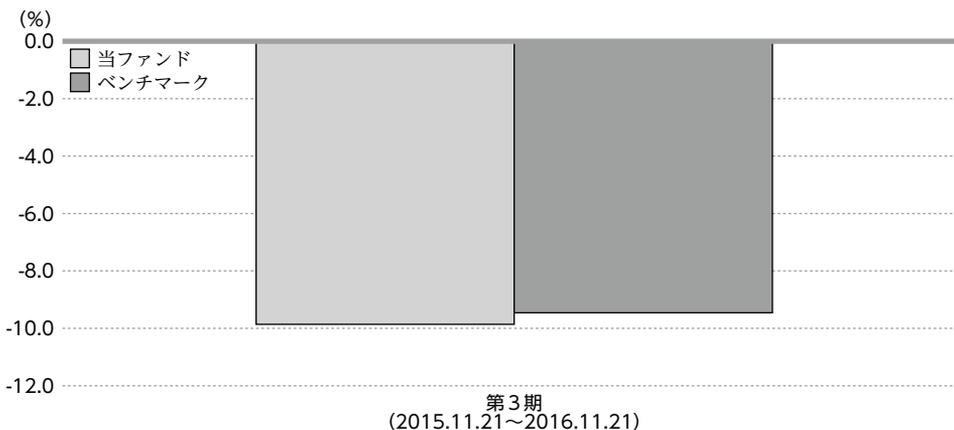
当期も、マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

マザーファンド

日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずる市場で取引されているものを含まず）しているリート（不動産投資信託証券）を主要投資対象とし、S & Pグローバルリートインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行いました。

当期も連動性を維持するために適宜売買を行って調整を実施しました。

ベンチマークとの差異



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

当期の税引前分配金再投資基準価額騰落率は-9.9%となり、ベンチマーク騰落率（-9.5%）におおむね連動しました。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

分配金

当期の分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案した結果、見送らせていただきました。
なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2015年11月21日 ～2016年11月21日
当期分配金（税引前）	—
対基準価額比率	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,918円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずる市場で取引されているものを含まず）しているリート（不動産投資信託証券）に投資することにより、S & P グローバルリートインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標に運用を行います。

マザーファンド

日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずる市場で取引されているものを含まず）しているリート（不動産投資信託証券）を主要投資対象とし、S & P グローバルリートインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

	第3期末
	2016年11月21日
ニッセイグローバルリートマザーファンド	100.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

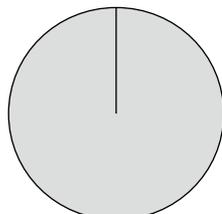
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

純資産等

項目	第3期末
	2016年11月21日
純資産総額	3,376,963,423円
受益権総口数	2,614,013,233口
1万口当たり基準価額	12,919円

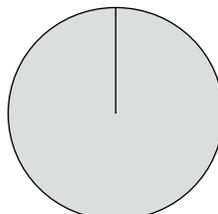
(注) 当期間中における追加設定元本額は1,129,706,736円、同解約元本額は850,690,334円です。

資産別配分



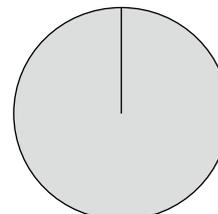
親投資信託受益証券
100.0%

国別配分



日本
100.0%

通貨別配分



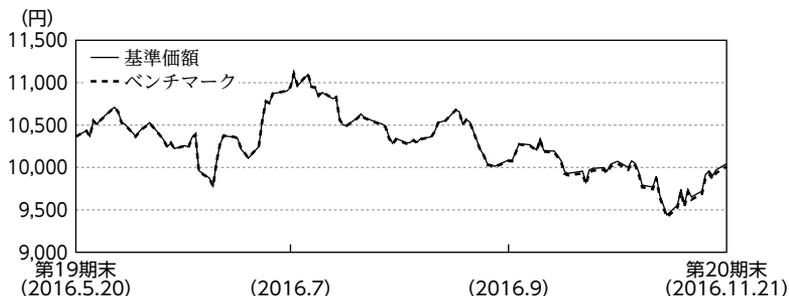
円
100.0%

(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2016年11月21日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

ニッセイグローバルリートマザーファンドの概要

基準価額の推移



(注) ベンチマークはS&Pグローバルリートインデックス(除く日本、配当込み、円換算ベース)で、前期末の基準価額にあわせて再指数化しています。なお円換算の際には、現地通貨ベースの指数を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算しています。S&Pグローバルリートインデックスの所有権およびその他一切の権利はスタンダード&プアーズが有しています。スタンダード&プアーズは、同指数の算出に係る誤りや当ファンドの運用成果等に関し、一切の責任を負いません。

上位銘柄

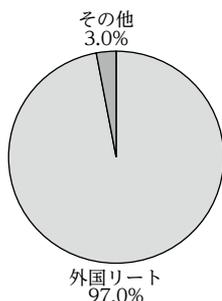
銘柄名	通貨	比率
SIMON PROPERTY GROUP INC	米ドル	5.4%
PUBLIC STORAGE	米ドル	2.8
PROLOGIS INC	米ドル	2.5
WELLTOWER INC	米ドル	2.1
UNIBAIL-RODAMCO SE	ユーロ	2.1
AVALONBAY COMMUNITIES INC	米ドル	2.0
VENTAS INC	米ドル	2.0
EQUITY RESIDENTIAL	米ドル	2.0
BOSTON PROPERTIES INC	米ドル	1.7
VORNADO REALTY TRUST	米ドル	1.6
組入銘柄数		289

1万口当たりの費用明細

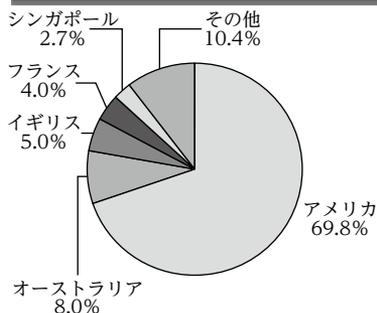
2016.5.21~2016.11.21

項目	金額
売買委託手数料 (投資信託証券)	1円 (1)
有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)
その他費用 (その他)	4 (4)
合計	5

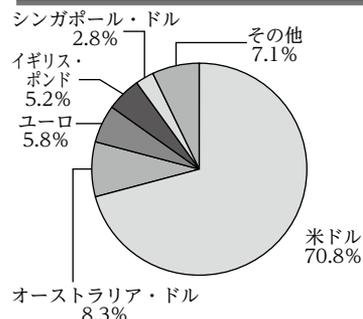
資産別配分



国別配分



通貨別配分

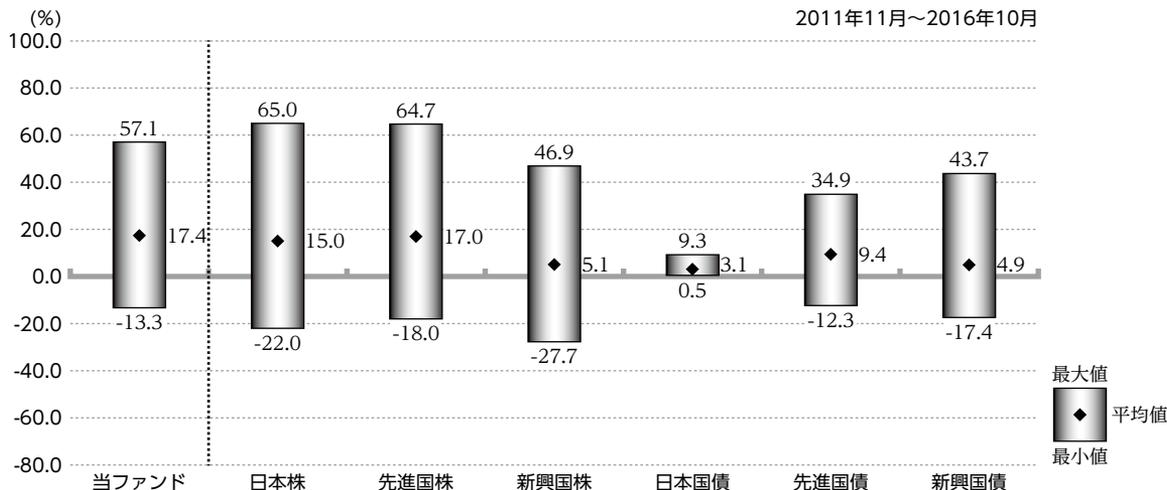


- (注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。費用項目の概要については2ページをご参照ください。
- (注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日(2016年11月21日現在)のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。
- (注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書(全体版)の組入有価証券明細表をご参照ください。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

参考情報

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



- (注1) 上記は、当ファンドの騰落率(税引前分配金再投資基準価額騰落率)と代表的な資産クラスの騰落率を比較したものであり、各資産クラスは当ファンドの投資対象を表しているものではありません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年分に満たないため、設定日以前のデータはファンドのベンチマークを用いて騰落率を算出しています。したがって、すべてがファンドの実績ではありません。

<代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数>

- 日本株・・・TOPIX(東証株価指数)(配当込み)
- 先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)
- 新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)
- 日本国債・・・NOMURA-BPI国債
- 先進国債・・・シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)
- 新興国債・・・JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイド(円ベース)

- すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 海外の指数は、「為替ヘッジなし(対円)」の指数を採用しています。

- TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。
- MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が公表している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- NOMURA-BPI 国債とは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、当ファンドの運用成果等に関し、一切責任を負いません。
- シティ世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCが開発した債券指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
- JPMorganGBI-EMグローバル・ディバースファイドは、JPMorgan社が算出する債券インデックスであり、その著作権および知的所有権は同社に帰属します。

お知らせ

運用体制の変更について

代表取締役社長に赤林富二が就任いたしました。

(2016年4月1日)

関連会社の実質保有比率

2016年10月末現在、当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドの信託財産において、委託会社の主要株主である日本生命保険相互会社は、当該マザーファンド受益証券を他のベビーファンドを通じて実質的に31.0%保有しています。当該実質保有分は、日本生命保険相互会社により他のベビーファンドを通じて解約されることがあります。

<購入・換金手数料なし>ニッセイグローバルリートインデックスファンド

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／不動産投信／インデックス型	
信 託 期 間	無期限	
運 用 方 針	主にニッセイグローバルリートマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずる市場で取引されているものを含みます）しているリート（不動産投資信託証券）に投資することにより、S & P グローバルリートインデックス（除く日本、配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目標とします。	
主要運用対象	<購入・換金手数料なし> ニッセイグローバルリート インデックスファンド	ニッセイグローバルリートマザーファンド受益証券
	ニッセイグローバルリート マザーファンド	日本を除く世界各国の金融商品取引所に上場（これに準ずる市場で取引されているものを含みます）している不動産投資信託証券
運 用 方 法	<購入・換金手数料なし> ニッセイグローバルリート インデックスファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイグローバルリート マザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益および売買益等の全額を対象として、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。	